

沖縄県職員採用ガイダンス 2025 【技術系】

2025年12月

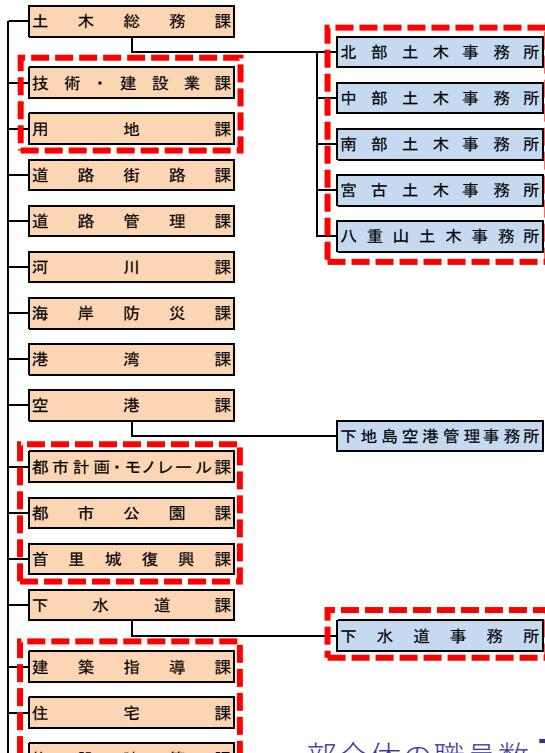
「建築職はこんな仕事をしています」

説明の流れ

1. 土木建築部の組織や事業
 - ・沖縄振興計画、社会資本整備事業等
2. 建築職の概要
3. 建築職の主な仕事
 - (1)建築基準行政
 - (2)施設建築
 - (3)都市計画
 - (4)その他、首里城復興事業など
4. おわりに、職員研修など

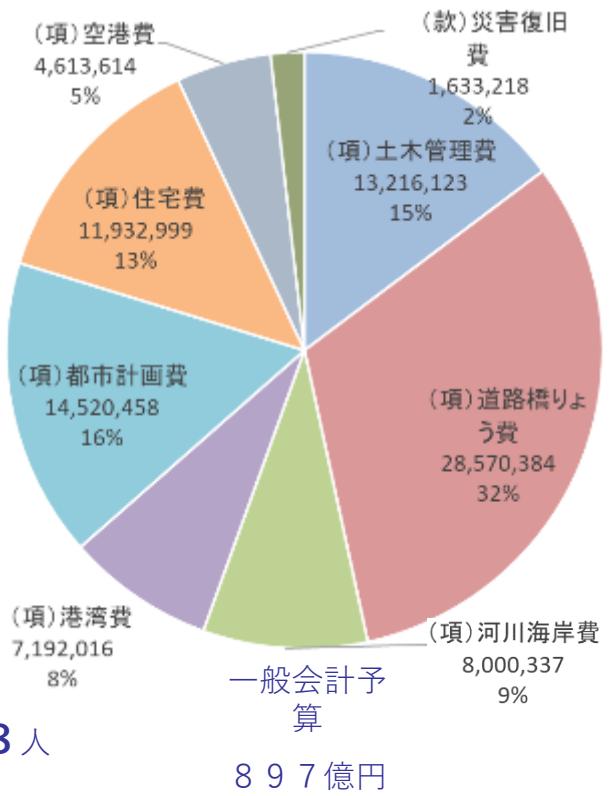
1. 土木建築部の紹介（組織と予算）

■土木建築部の組織（令和7年4月1日時点）



□ 建築職の主な配属先

■土木建築部 令和7年度歳出予算

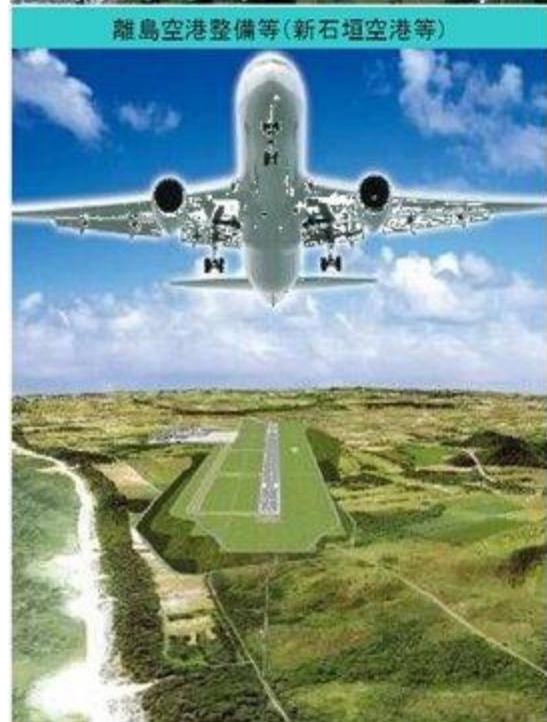


県全体予算
約 8,894 億円

土木建築部合計予算
約 1,250 億円
(特別会計,企業会計,他部局分任予算含む)

土木建築部予算割合
約 14%

アジア規模の経済発展基盤整備プロジェクト



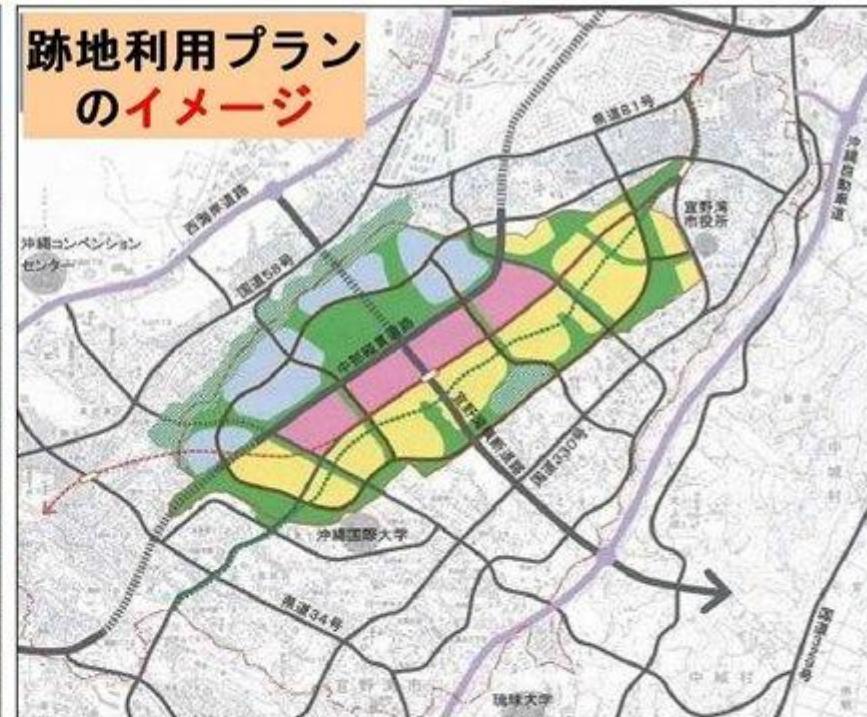
世界水準の観光リゾート地形成プロジェクト



災害に強い島づくりプロジェクト



大規模駐留軍用地跡地利用プロジェクト



将来のまちづくりのイメージ



沖縄らしい風景・まちなみ創生プロジェクト

公的空間の質的改善



まちなみ景観の創造



沖縄振興計画(H14～)以降の主な社会资本整備施設等(完成)

平成15年度 ○沖縄都市モノレール開業

平成16年度 ○古宇利大橋開通

○那覇新都心地区完成

○豊見城市地先開発事業埋立竣功認可

平成18年度 ○与那国空港(滑走路拡張)供用

平成19年度 ○西原マリンパーク供用

○国道449号名護バイパスの全線開通

平成20年度 ○新都心牧志線開通

○比謝川水辺プラザ完成

平成22年度 ○識名トンネル開通

○ワルミ大橋開通

平成24年度 ○新石垣空港開港

平成26年度 ○伊良部大橋開通

平成27年度 ○儀間ダム竣工

平成29年度 ○具志川環状線開通

○浦添西原線(港川道路)開通

平成30年度 ○下地島空港ターミナル開業

令和元年度 ○都市モノレール延長部開業

令和4年度 ○KINサンライズビーチ供用

令和5年度 ○モノレール3両編成運行開始



2. 建築職の概要(イメージ)

施設建築

教育施設



アンダ-40建築設計競技



2018



2019



2020

住宅行政

- 沖縄県住生活基本計画
- 住宅市街地総合整備事業
- 沖縄県高齢者居住安定確保計画
- 高齢者向け有料賃貸住宅制度
- 長期優良住宅認定制度
- 住宅リフォーム助成支援事業

公営住宅



大型MICE



マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョン

首里城復興



首里城公園中城御殿跡地整備

建築基準行政

- 建築基準法
- 建築士法
- 建築物省エネルギー法
- 都市の低炭素化の促進に関する法律
- 建築物の耐震改修の促進に関する法律
- 建築物バリアフリー法
- 福祉のまちづくり条例



都市計画

都市の将来像



都市マスタープラン

市街地整備



市街地再開発



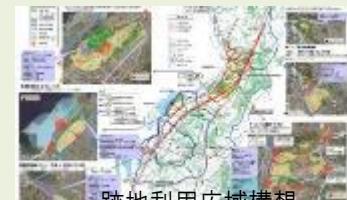
土地区画整理

景観形成



龍潭通り

基地跡地利用



跡地利用広域構想

2.建築職の概要（人数、配属先など）

■建築職の配属先

部	課	職員数	合計
本庁	統括監	1	
	建築指導課	12	
	施設建築課	17	
	住宅課	13	
	都市計画・モノレール課	5	60
	都市公園課	1	
	首里城復興課	8	
	技術・建設業課	2	
	用地課	1	
出先	北部土木事務所	6	
	中部土木事務所	8	
	南部土木事務所	8	
	宮古土木事務所	5	
	八重山土木事務所	5	37
	下水道事務所	1	
	那覇港管理組合	1	
	沖縄県住宅供給公社	1	
	(財) 沖縄県建設技術センター	2	
	管財課	3	
他部局	総務部	1	
	東京事務所	1	
保健医療部	県土・跡地利用対策課	3	
	医療政策課	1	
商工労働部	情報産業振興課	1	
	企業立地推進課	1	21
文化観光スポーツ部	MICE推進課	2	
	(財) 国立劇場おきなわ運営財団	1	
教育庁	施設課	6	
	病院事業局	2	
	病院事業経営課	2	

沖縄県庁は県内最大級の技術者集団です

- 建築技術職員 約120人
- 土木技術職員 約300人
- 電気・機械技術職員 約130人

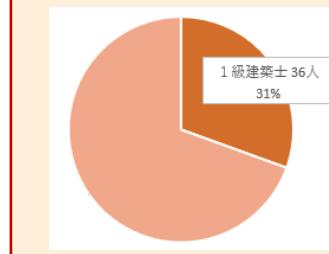
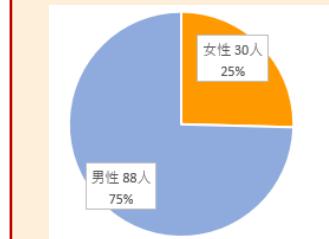
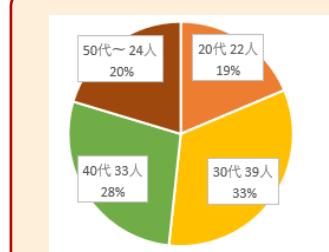
いろいろ相談できる。資格取得支援も充実

有資格者も多数！！
一級建築士36人
技術士38人など
(※R7年度時点現役職員)

■建築技術職員118人の内訳（R7年度時点）

年齢別内訳

建築職の約50%が20代、30代です！！
たくさんの若手建築職員がいろんな職場で元気に活躍しています！



4 : 1

男女別内訳

建築職の約4人に1人が女性です！！
近年さらに増えてきています！
(この10年で15人以上増加！)

3 : 1

一級建築士の保有状況

建築職の約3人に1人が一級建築士！！
受験資格が緩和されたので、受験が可能であれば、学生や若いうちの早期取得をオススメします！

若手職員に聞きました

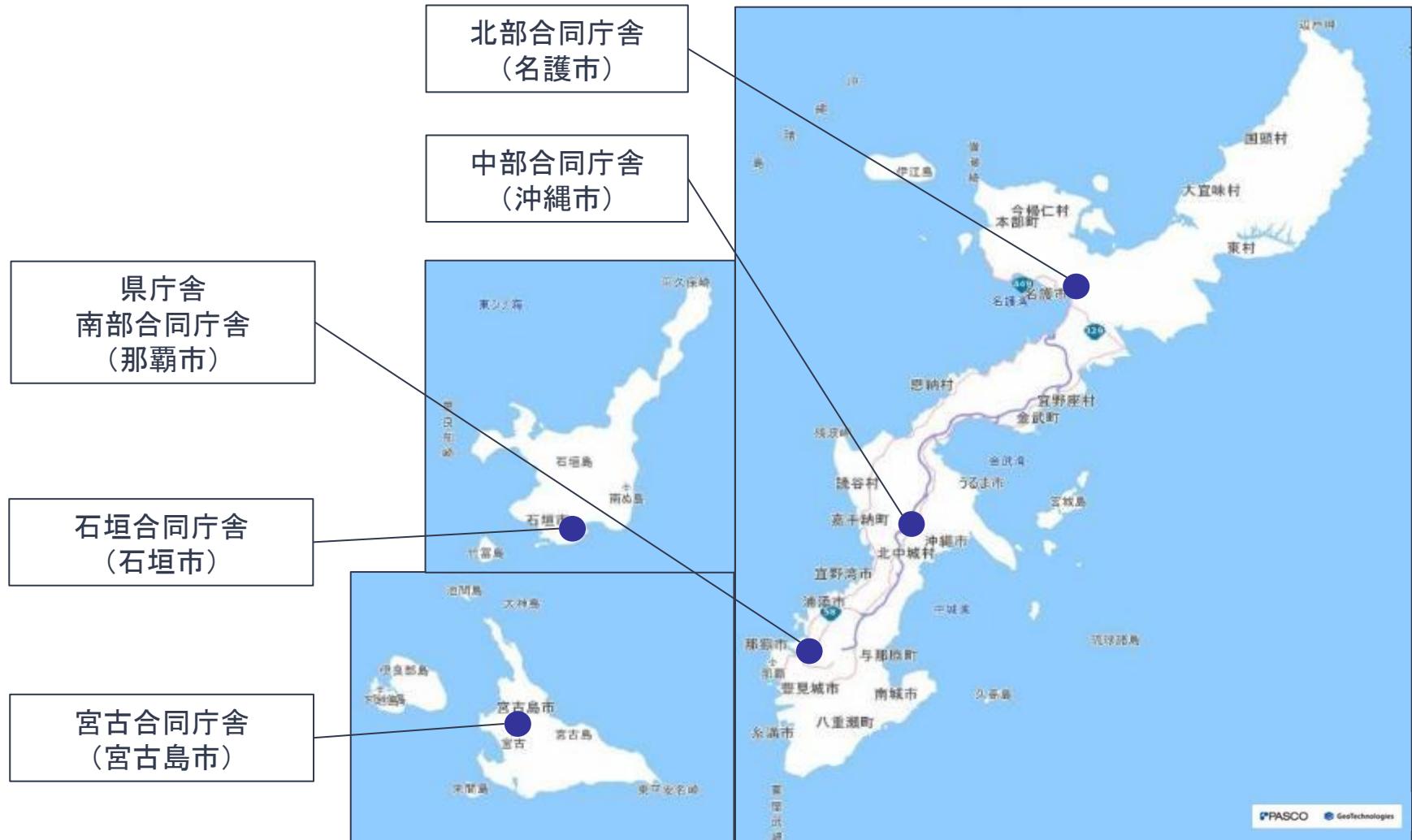
県庁職員になって、よかったです

- 視野が広くなる。県全体の動きがわかる。
- 全国各地への出張があり、見聞が広がった
- 大きなプロジェクトや、いろんな仕事に関われること
- 沖縄の発展に貢献できて嬉しい。地元愛が強まった

2.建築職の概要（主な勤務地）

■ 主要な異動先

出先機関は主に本島南部・中部・北部・離島に分散しており、原則3年ごとに異動



3. 建築職の仕事

(1) 建築基準行政

関連部署：建築指導課・各土木事務所

建築基準法
第1条

この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する
最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もつて公共の福祉の増進に資することを目的とする。

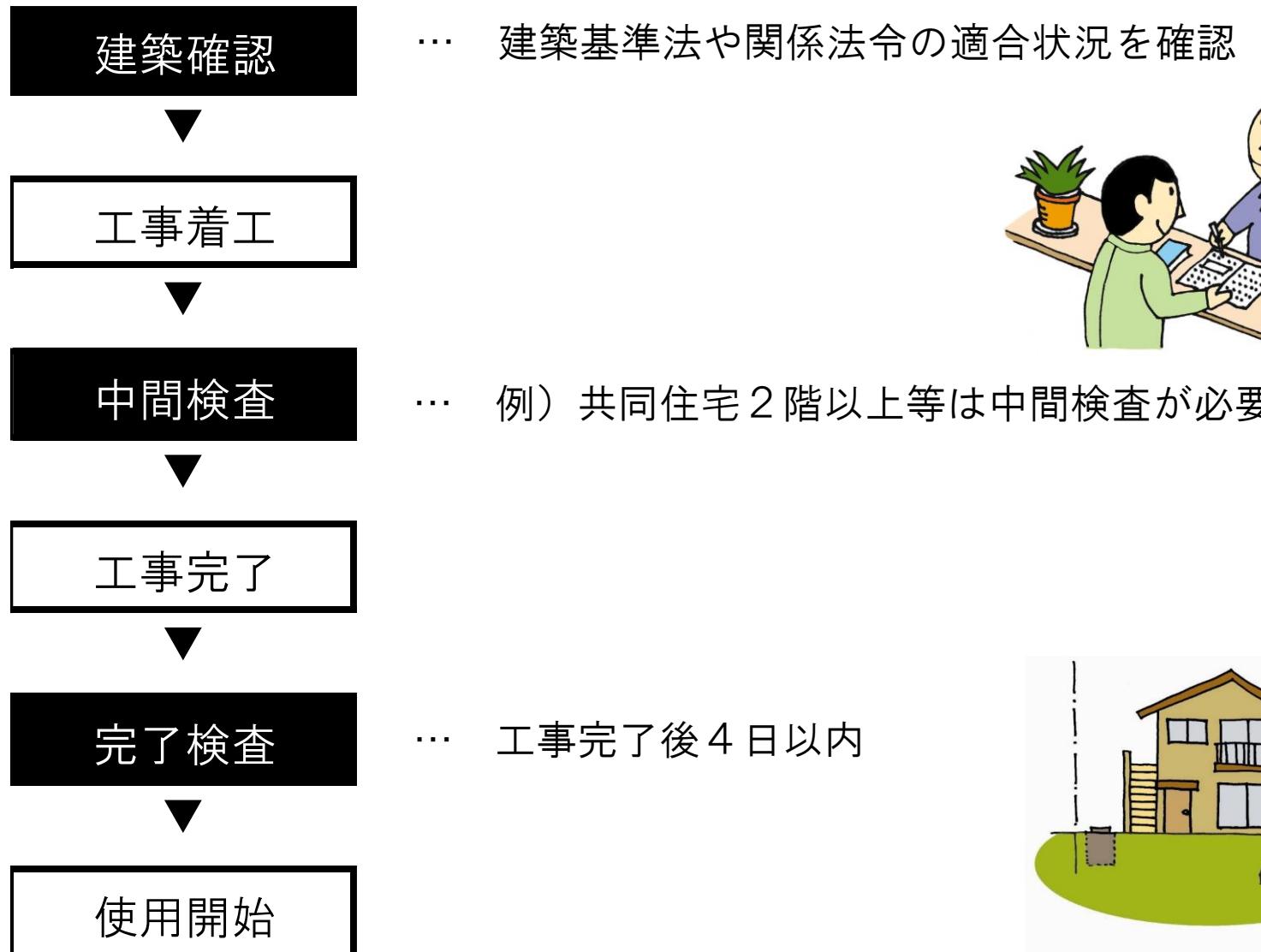
建築関係規定

- ・消防法・駐車場法・下水道法・屋外広告物法・浄化槽法
- ・宅地建物規制法　・都市計画法　・浄化槽法など

3. 建築職の仕事

(1) 建築基準行政

関連部署：建築指導課・各土木事務所



3. 建築職の仕事

(1) 建築基準行政

関連部署：建築指導課・各土木事務所

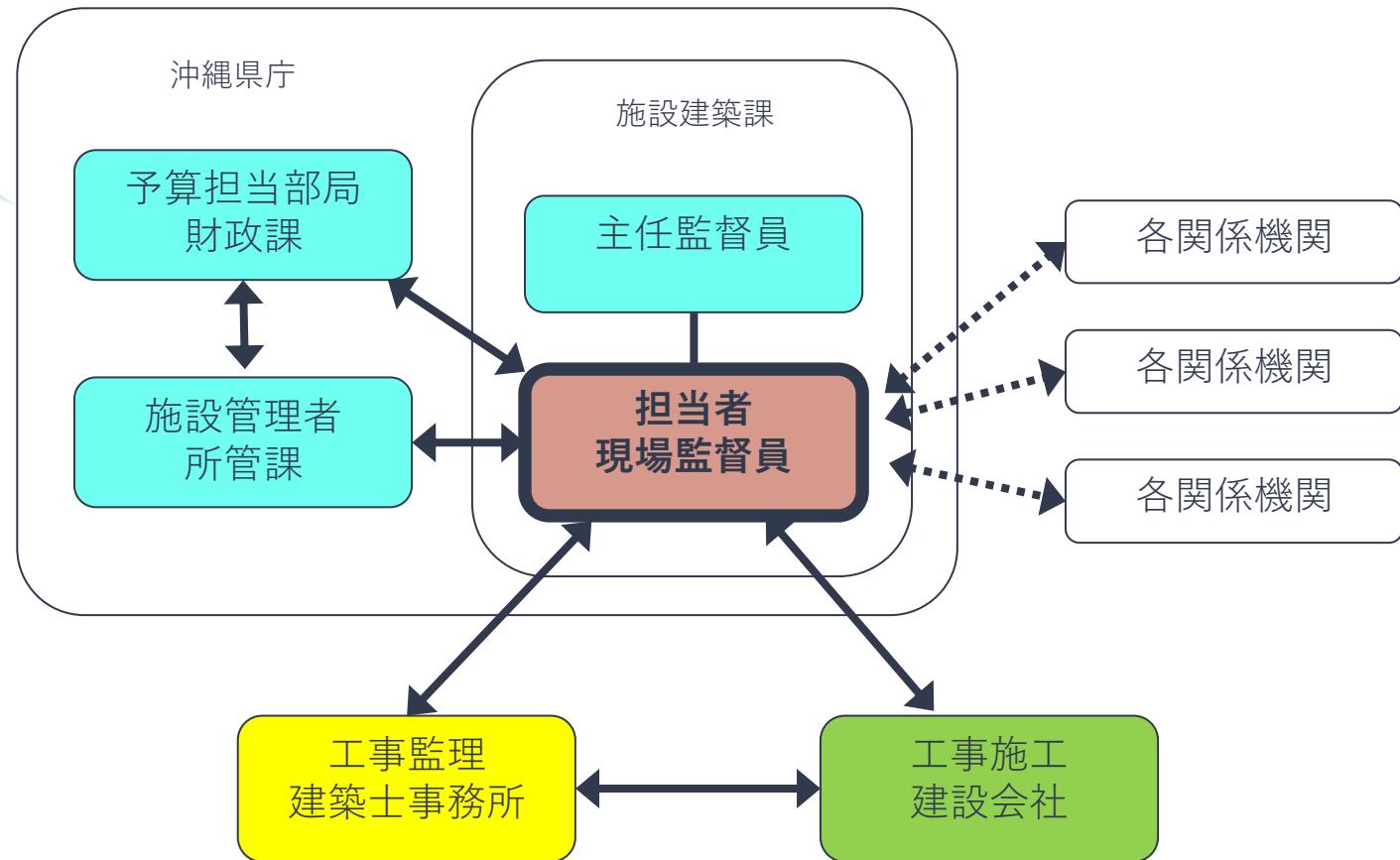


3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

業務体制



3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

設計

工事

監理

検査

建物を建設するには「**設計**」が必要

→設計事務所へ「**設計業務を委託**」する

委託業務設計書の作成

- ・積算基準をもとに委託料の算定
- ・業務内容、適用基準、提出書類等を記載した特記仕様書の作成

設計委託業務の発注

- ・受注者や関係者と調整を繰り返し、工事施工上の課題の解消、構造や設備との整合等を行う
- ・成果品は、工事設計図書等工事を発注するために必要な資料となる

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

設計

工事

監理

検査

建物を建設するには「**専門の技術**」が必要

→建設工事の専門業者に「**工事を発注**」する

工事設計書の作成

- ・積算基準をもとに工事費の算定
- ・業務内容、適用基準、提出書類等を記載した特記仕様書の作成

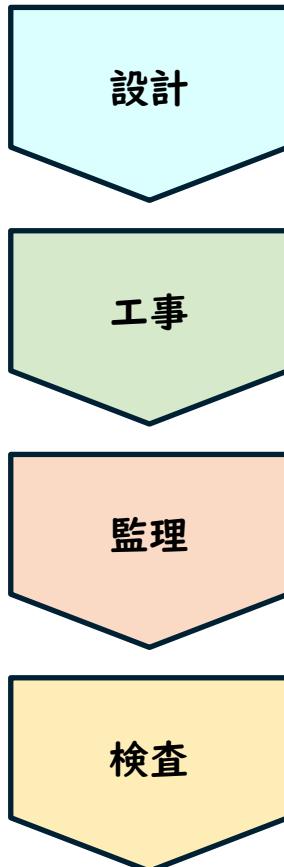
工事の発注

- ・発注するための公告資料や審査会資料の作成
- ・公告中の質疑回答の対応、契約後の着手会議資料の作成
- ・監督職員として、品質、工程管理、施工上の課題とりまとめ等行う

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc



工事に関して県職員が主に行う業務は、

- ①工事が適切に進行しているのかの進捗確認
- ②発注通りに工事が実施されているかの確認

イメージ



杭の施工について支持地盤に到達したことが分かる資料を提出してください。

発注・監督

完了【確認】



3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

開邦高校
中学校校舎
2期

施設概要（事業課：教育庁施設課）

工事場所：南風原町新川

用 途：学校

構造階数：鉄筋コンクリート造

地上 4 階

敷地面積：17,414.31 m²

延床面積：7,495.51 m²



外観 1



外観 2



中学・高校の共有スペースとなる図書館



通風と採光に配慮した廊下

3. 建築職の仕事 (2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

県営松川団地
1期

施設概要（事業課：住宅課）

工事場所：那覇市繫多川

用 途：共同住宅

構造階数：鉄筋コンクリート造

地上 8 階建

敷地面積：12,308.67 m²

延床面積：3,644.36 m²



外観



住戸内部

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築

関連部署：施設建築課・教育庁施設課etc

工芸の杜

施設概要 [事業課：商工労働部ものづくり振興課]

所 在 地：豊見城市字豊見城

工 期：令和元年10月～令和4年3月

構 造・階 数：RC造 地上3階建

敷 地 面 積：9,787.51 m²

延 ベ 面 積：9,162.08 m²



建物全景



ロビー



工芸ストリート

3. 建築職の仕事 (2) 施設建築

他部局の事業: 沖縄空手会館

工事場所: 豊見城市(旧豊見城城址公園跡地)

用途: 展示場・集客施設

構造: 鉄筋コンクリート造 地上2階

敷地面積: 40,133m² 建築面積: 8,179

延床面積: 7,810m²

空手道会館(仮称) 施設工事基本設計競技実務

2. 外観デザイン

【外観デザインコンセプト】

- ・ 既存に残しきのある瓦葺石垣を多用して沖縄らしさを感じさせるとともに、時間が経つにつれて歴史感の環境や景観に自然となじむデザインとする。
- ・ 豊見城グスクという歴史遺産と調和し、空手会館の島としての雰囲気を形成する。
- ・ 連続した「石貼りのPC板」をデザインモチーフにしてグスクの石垣の持つ力強いイメージを受け継ぐとともに、PC構造の持つ現代的な技術を表現する。
- ・ 石貼りのPC板で建物周囲を囲いながらも、PC板相互通の間を適切に確保して開放性を確保するとともに圧迫感の大きな壁面とならないように配慮する。



特別道場



道場施設 武道場



外観【全景】

3. 建築職の仕事

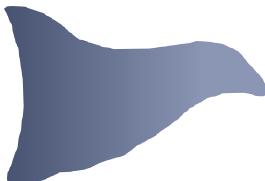
(2) 施設建築 アンダー40設計競技

関連部署：施設建築課

■沖縄県アンダー40設計競技とは

建設産業の人材育成に向け、40歳以下の若手建築士
(学生・志望者を含む)を対象に行われている設計コンペ

■愛称：ティーダフラッグス



アンダー40設計競技の愛称であり
太陽の下にたなびく三角旗は
若者の持つ情熱と力強さを表す

■仕事の流れ

整備対象案件の検討→条件設定→選考委員選定→応募要項作成→
一次審査会→最終審査会の運営→実施設計→工事

第13回 沖縄県アンダー40 設計競技



対象
施設
奥武山公園庭球場管理棟

ティーダフラッグス 2024

賞品
金賞 20万円×1点
銀賞 10万円×1点
銅賞 5万円×1点
学生賞 5万円×1点

問い合わせ先 沖縄県建設局企画課
※各賞とも税込1人1件まで受賞可能といたします。

奥武山公園は、健脚増進を目的として多くの方が来園し、利用していますが、より多くの方に利用して頂けるよう公園づくりを進めています。今後、国民体育大会の会場として利用される予定であることから、観覧機能や救援室等に加え、既存のトイレや更衣室等の改修・増築が求められています。
今回のコンペは、テニスコートの管理棟が対象です。この場所にふさわしい施設の提案を期待します。

3. 建築職の仕事

(2) 施設建築 アンダー40設計競技

関連部署：施設建築課

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
平成23年度 (2011)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)
浦添大公園 総合案内所 	名護城公園 ビジターセンター 	県総合運動公園 クラブハウス 	奥武山公園 コミュニティーセンター 	平和祈念公園 大きな休憩舎 	平和祈念公園 ウェルカムルーフ 	喜屋武岬園地 休憩所 
平成25年完成	平成26年完成	平成29年完成	令和元年完成	令和3年完成	令和2年完成	令和3年完成
第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
中城公園 トイレ 	本部港 屋根付き利便施設 	大度園地 トイレ・休憩所 	海軍壕公園 展望台 	県総合運動公園 キッチンハウス 	奥武山公園 庭球場管理棟 	1 ? 過去応募平均：45組程度 
令和4年完成	令和4年完成	工事準備中	工事準備中	設計中	設計中	計画中



Motobu Coral Roof (本部港)

3. 建築職の仕事 (3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

無計画にまちがつくられると…



計画的にまちづくりを行えば…



3. 建築職の仕事 (3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

都市とは

→大勢の人が集まり、働き、学び、生活する場所

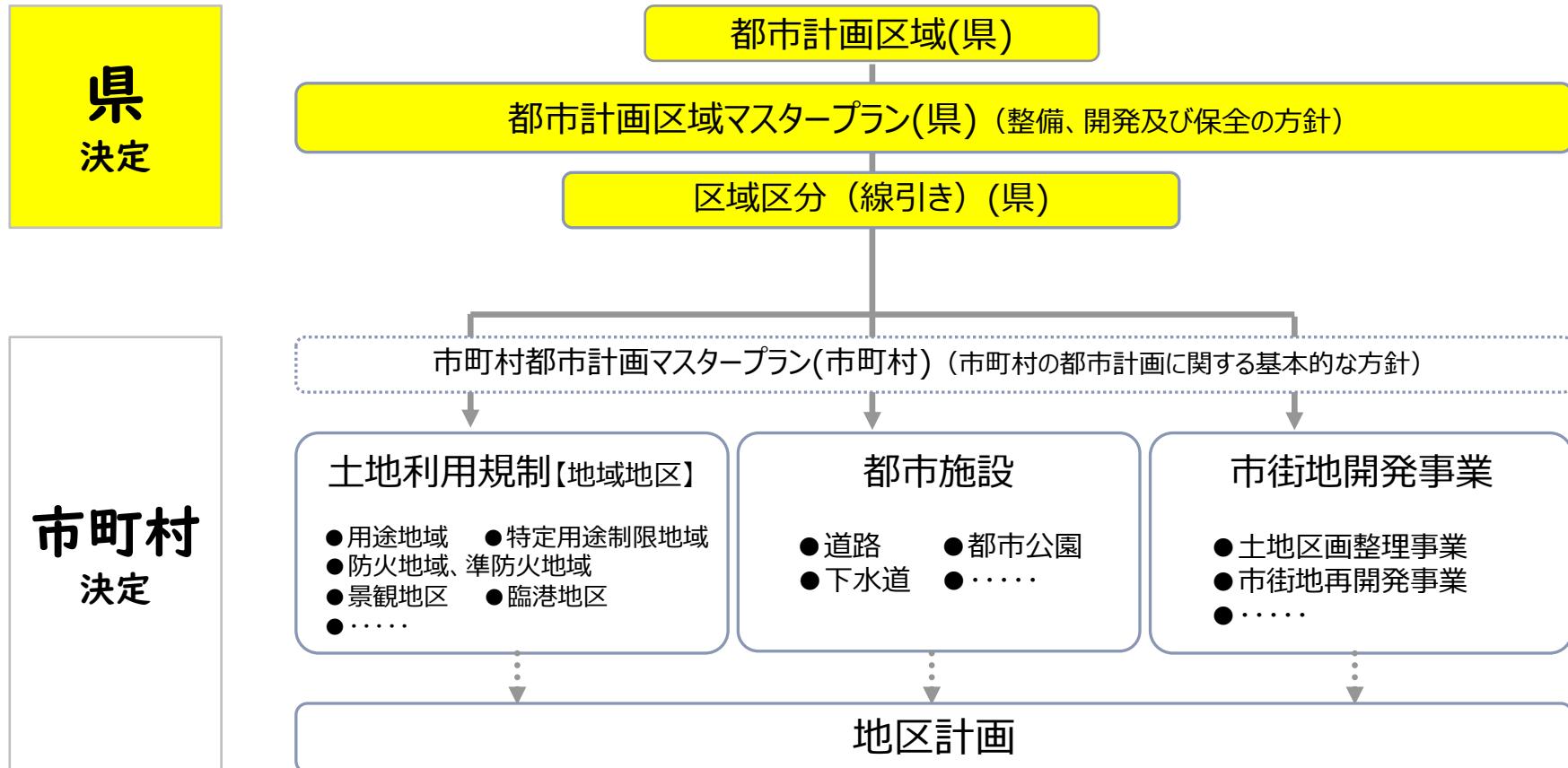
都市計画とは

→都市に集まる人が快適に暮らすためのまちづくりのルール！

3. 建築職の仕事

(3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課



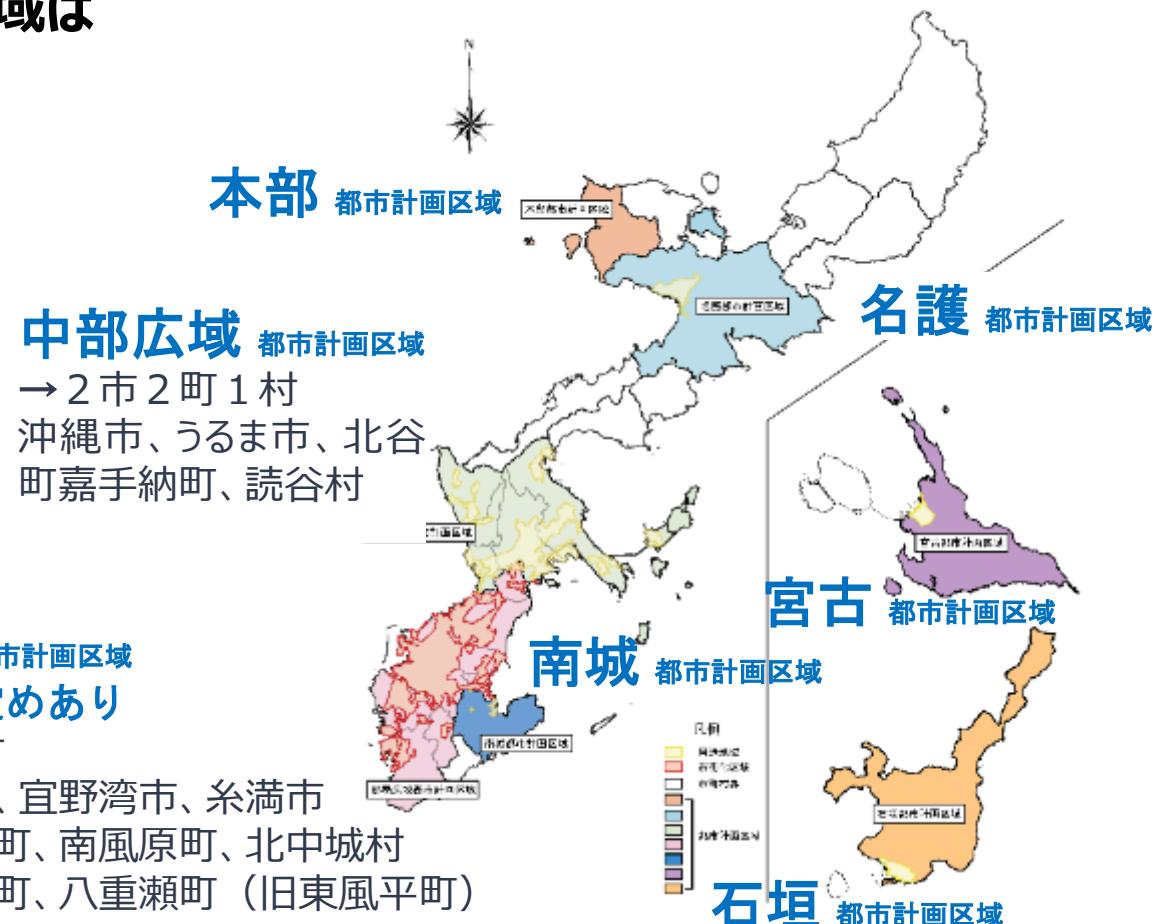
3. 建築職の仕事

(3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

県内の都市計画区域は
7区域 21市町村

那覇広域 都市計画区域
※区域区分の定めあり
→5市4町2村
那覇市、浦添市、宜野湾市、糸満市
豊見城市、西原町、南風原町、北中城村
中城村、与那原町、八重瀬町（旧東風平町）



3. 建築職の仕事

(3) 都市計画

関連部署：都市計画・モノレール課

都市計画区域マスタープラン

- ・都市計画区域ごとに県が策定
- ・市町村の区域を超える広域的な見地から都市計画の基本的な方針を定める

市町村マスタープラン

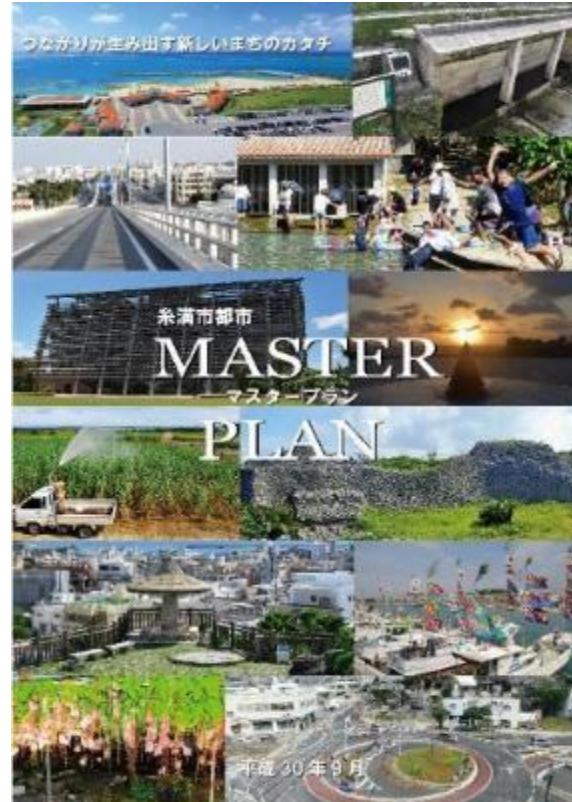
- ・市町村が策定
- ・地域に密着した見地から都市計画の基本的な方針を定める

那覇広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」

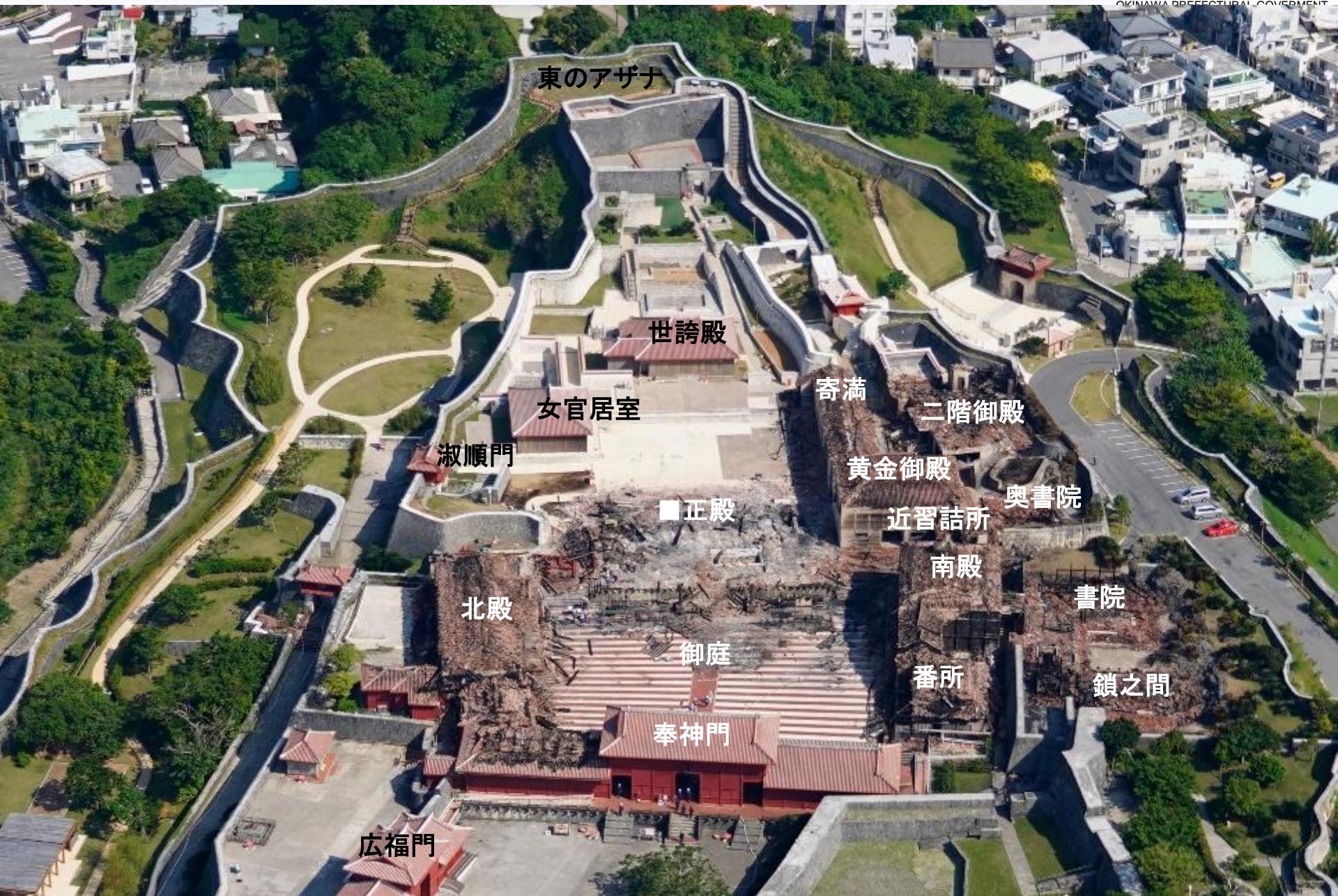


令和4年11月

沖縄県



建築職の仕事 (4)首里城復興



首里城復興基金(寄附金)を活用した取組 ※首里城復興基金事業 監修会議

部位	種類	名称
木材	大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材
	大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床等)
赤瓦	(1) 赤瓦	瓦[正殿 約60,000枚] [金型・機材・環境整備]
	(2) 瓦類	雲型飾瓦[約280個] (くもがたかざりがわら)
屋外彫刻	(4) 石彫刻	大龍柱/台石
	(5)	小龍柱
	(6)	石高欄/持送石 (いしこうらん)
	(7)	礎石[105個]
		礎盤[4箇所×3段]
	-	石階段
	(8) 木彫刻	懸魚(げぎょ)
	(9)	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)
	(10)	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)
	(11)	向拝 奥の彫刻物 (こうはい オノヒカリモノ)
	(12) 焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)
	(13)	鬼瓦[4個] (おにがわら)
	(14)	磚[約1,500枚] (せん)
	(3) 漆芸	扁額[3点](へんがく) [共同作業場]
	(15) 垂飾	1階 御差床瓔珞 (うさすかようらく)
	(16) 造作・彩色	台御差床 (だいうさすか)
	(17) 造作・彩色	御差床 (うさすか)



県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)

首里城復興基金(寄附金)を活用した取組 ※木材調達



天井額木用木材の調達状況



県産クスノキ調達状況



県産クスノキ製材状況



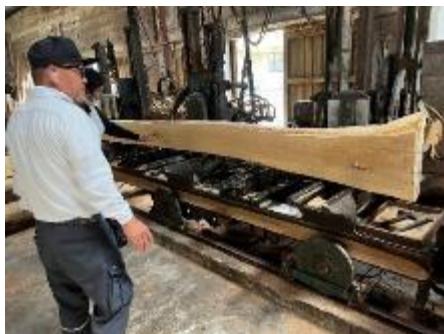
外部倉庫への搬入と受入検査状況



国産クスノキの木取り打合せ状況



イヌマキ板材製材状況



県産イヌマキ製材確認

■ 県調達木材の主な産地

- | | |
|----------|----------|
| ・ヒノキ | 奈良、三重 |
| ・ヒノキアスナロ | 青森 |
| ・スギ | 熊本、奈良 |
| ・イヌマキ | 長崎ほか九州各地 |
| ・クスノキ | 埼玉 |

首里杜地区整備基本計画（令和4年4月策定）の概要

○目的

首里城復興基本計画の基本施策に位置付けられた「新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進」を目的とし、首里杜地区の目指す姿や具体的な施策などをとりまとめた計画である。

○計画期間

- ・計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間とする。
 - ・正殿完成予定の令和8年度までを前期5年、以降を後期5年とする。

○計画の特徴

計画の各取り組みについては、具体的なロードマップを整理している。また、多様な主体が連携して効果的なまちづくりを行えるよう、テーマやエリアごとに関連する施策や事業をパッケージ化した点が特徴である。

○計画の推進体制

令和4年度に、有識者、行政関係、地域団体、関係事業者等で構成する「首里杜まちづくり推進協議会」を設置し、計画の進捗管理や改善を実施。令和5年度の協議会では、県、那覇市、地域団体の三者にて事務局を担い、龍潭周辺の全体利用のあり方や地区交通の検討に係るワークショップなどを行った。

○取り組みロードマップ(一部抜粋)



方針	中項目	小項目	取り組みNo	継続or新規	事業	事業主体	前期(5年)					後期(5年)		
							2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027~2031年度 令和9~13年度		
							調査(文化財)					工事		
(1)古都首里を感じられる良い景観形成の推進	①古都首里を感じられる良い景観形成の推進	景観に配慮した良質な公共空間の創出	4	継続	無電柱化推進事業（県道49・50号線）	県(道路管理課)	調査(文化財)		設計		工事			
			5	継続	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)							景観アセスメント対象事業の選定・実施	
	③共創の景観まちづくりの推進	地域人材の育成	11	継続	沖縄らしい風景づくりに係る人材育成	県(都市計画・モノレール課)							人材育成・シンポジウム等の計画・実施等	
(2)歴史文化資源等の保全・整備・活用	①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	15	新	第32軍司令部壕保存・公開	県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討							
			16	継続・新	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)							設計	
	②拠点資源及び周辺の保全・復元・整備	歴史文化資源の保全・復元・整備	17	継続	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)							工事	
			18	継続・新	離潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)							調査・設計	
			20-1	新	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、級世門等の修復保全)	県(文化財課)							工事等(順次実施)	
			21-1	新	地域資源の調査及び修景等	県(首里城復興課)							調査・設計・工事等(順次実施)	
													取り組み方針の検討	
	主要渋滞箇所の対策		22	継続・新	渋滞ボトルネック対策	県(道路路課)	調査・設計						整備等(順次実施)	
													交通量調査・渋滞長調査、対策検討・対策実施(順次実施)、効果検証	

中城御殿跡地整備の概要

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で竣工間取図などの復元（再現）を可能とする根拠資料が存在する。

【事業実施場所】

旧県立博物館跡地（首里城公園（県営区域）内）

【規模・総事業費】

敷地面積：約11,330m²

延べ床面積：約3,870m² (RC造3,030m²、木造840m²)

【令和3年度整備基本計画改定の概要】

- 首里城復興基本計画を踏まえ主に以下の項目を見直し
- ①展示収蔵計画の拡充見直し（美術工芸品の保存管理）
- ②施設全体の防災・防火対策の強化
- ③公園全体の一体利用、魅力向上に資する利用の拡充

【中城御殿整備スケジュール（案）】

項目	事業	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026	令和9 2027	令和10 2028	令和11 2029	令和12 2030	令和13 2031	
城 郭 内	正殿復元 （公園事業）	文部省計 算 着手予定 (WTO)			工事		正殿完成						
	松崎馬場など 難河周辺整備 （公園事業）		松崎馬場など施設周辺整備 調整、設計		工事			※令和8年 正殿復元工事完成予定	公園（供用開始）				
	【第1期工事】 上之御殿 （庭園・広場）	社会資本整備 総合交付金事業 （公園事業）	上之御殿 設計	工事					公園（供用開始）				
中 城 御 殿	【第2期工事】 御内原 表御殿西側 (RC造)	社会資本整備 総合交付金事業 （公園事業）	御内原・表御殿西側 設計 ※現地測量中	工事					公園（供用開始）				
	【第3期工事】 表御殿東側 (木造復元)	事業化に向け 引き続き調整				表御殿東側 設計		※令和8年 正殿復元工事完成予定		木造軽工、木体工事			

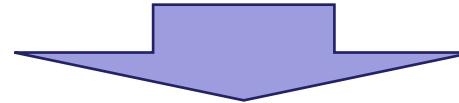
中城御殿イメージパース



4. おわりに

建築技術職員スキルアップセミナー

公共建築物の品質確保には相応の技術力が必要であり、一級建築士取得を要件とする建築主事の設置義務も沖縄県に課せられているため、一級建築士レベルの知識習得は継続的に取り組むべき課題となっています。



業務経験の浅い若手建築技術職員の早期育成
及び建築技術職員全体のスキルアップを図るため、
「スキルアップセミナー」を実施

○取り組み

- ・ 一級建築士学科試験対策講座（Web講座等）
- ・ 模擬試験の実施
- ・ 毎朝の自己学習時間の確保、学習場所の提供 など

4. おわりに

会議・研修等への参加

担当業務に関係する会議や研修が全国各地で開催されているので、業務の一環で県外へ行くこともあります。

会議や研修等を通じて、職務能力の向上を図り、また、その内容を所属部署へフィードバックすることで職場全体の業務推進に繋げています。

(参考)

国土交通大学校（東京都小平市）
令和7年度研修抜粋

住宅・建築

研修名	PRポイント	講師	参加者の声	実施時期	研修日数
住宅施設政策／公共住宅管理（多様な世界が安心して暮らせる住生活の実現）	人口減少、高齢社会の進展、子育て世帯への支援分野の課題を踏まえながらのあり方、公的賃貸住宅の管理等に関する知識の習得や、住宅政策の企画立案能力の向上を図ります。	事・技	・住宅施設全般を学びつつ、行政や最終も含めた過去・現在・将来のいろいろな議論を聞けた。（住宅施設政策コース） ・公的住宅や賃貸・賃貸管理制度から民営賃貸住宅の管理まで幅広く学ぶことができた。（公共住宅管理コース）	6月3日(火)～6月13日(金)	9日間
まちづくり政策（10年長期計画／都市計画の実施・再開発事業、マンション整備実務など公的賃貸住宅の実務事例に係る議論、課題研究や政策実務を通じて、建設行政の鍵から、まちづくりに必要な知識を幅広く学び得ます）	建設政策（住環境）、市街地の実施・再開発事業、マンション整備実務などを公的賃貸住宅の実務事例に係る議論、課題研究や政策実務を通じて、建設行政の鍵から、まちづくりに必要な知識を幅広く学び得ます。	事・技	・まちづくりに関し、建設政策、まちづくり事業、マンション・都市計画と連携する議論を学ぶことができました。 ・建設行政に携わる相手となる方々や他の課で開けた人たちと交流でき、刺激を受けることで成長につながった。	11月13日(木)～11月20日(木)	6日間
空き家対策実務	空き家の特徴の基本、市況正答の判断の実務動作、各条例における空き家の特徴や市町村の実務事例について学ぶ議論や、組織作成等で実務を行なう機会研究を通じて、空き家対策の実務に必要な知識を総合的に獲得できます。	事・技	・空き家対策の特徴や事例を学びつつ、各市の事例について議論や他の相談者と意見交換ができる参考となりた。 ・大切な議論を通じ、多くの情報を学びつつ最適な具体的な実施策を確立しやすかったです。	5月12日(月)～5月16日(金)	5日間
建築確認・中間検査・完了検査	建築物や構造等の実務者による、建築基準法等に関する基礎から頭にのれた知識と実務的知識を駆使して、課題問題、検査の実務に必要な専門知識を絞り込むことができます。	事・技	・建築行政の動向から統括・実施基準・法規・防火規則まで幅広く網羅され、建築基準法等の全体像を理解できた。 ・法令ごとの規制事項の両面的な面、課題による審査判定の流れを知ることができ、興味深い印象になりました。	1月13日(火)～1月20日(金)	8日間

営繕

研修名	PRポイント	講師	参加者の声	実施時期	研修日数
公共建築物の取扱説明等の実務取扱を織り込んだ議論を対象とし、有識者や企画等における議論を通じて、公共建築物に求められる先導的な役割や公共建築工事の投注書の審査を果たすための具体的な方策を学ぶことができます。	公共建築工事の投注書の審査等の実務取扱を織り込んだ議論を通じて、公共建築物に求められる先導的な役割や公共建築工事の投注書の審査を果たすための具体的な方策を学ぶことができます。	事・技	・公共建築物整備に必要な社会的背景や求められる投注者の状況を確認できました。 ・他の投注士の反応を深めることで、異なる考え方や幅広い知識を学べる貴重な機会となった。	7月23日(水)～8月1日(金)	8日間
総合開発令、基準、設計手法、アシリティマネジメントと取組事例に関する講義、中長期収支計画に関する講習、課題研究、実地見学を通じて、公共建築物の健全企画・指導実務に対する専門知識を総合的に修得できます。	総合開発令令、基準、設計手法、アシリティマネジメントと取組事例に関する講義、中長期収支計画に関する講習、課題研究、実地見学を通じて、公共建築物の健全企画・指導実務に対する専門知識を総合的に修得できます。	事・技	・民営の導入に着手してから、他の認証とその影響の扱い等の講義、基幹企画の実践、中長期計画の考え方を学ぶ機会など、多角的に学ぶことができました。	10月14日(火)～10月24日(金)	11日間

都市・地域政策

研修名	PRポイント	講師	参加者の声	実施時期	研修日数
まちづくり（導入可能な都市経営に向けた公共政策、中長期収支計画による都市再生・まちづくり、エリハマネシメント等に関する講義、中長期収支計画に関する議論、フィールドワーク、課題研究を通じて、まちの本業を共有し、民営運営で都市再生・まちづくりを担うための実践的な手法を学ぶことができます）	まちづくり（導入可能な都市経営による都市再生・まちづくり、エリハマネシメント等に関する講義、中長期収支計画に関する議論、フィールドワーク、課題研究を通じて、まちの本業を共有し、民営運営で都市再生・まちづくりを担うための実践的な手法を学ぶことができます）	事・技	内閣した議論を通して、我が行政に導き得るところに、行動に移さなければいけないところを明確に示して貰う良い機会でした。また、議題研究では議論の広がりで自分たちの考え方で、議論と議論することで大きな知識が得られたとともに、議論全体が議論されることが大きな知識になつた。 事・技	11月10日(月)～11月21日(金)	12日間
土地利用計画（都市利用計画制度やコンバクトシティ、街並みづくりに関する議論、人口減少下における持続可能な社会の構築のための実践的な手法を学ぶことができます）	土地利用計画制度やコンバクトシティ、街並みづくりに関する議論、人口減少下における持続可能な社会の構築のための実践的な手法を学ぶことができます。	事・技	事例研究会の立ち上げに実習する基本操作から、コンバクトシティやスマートシティ、様々な施設における人口減少下での課題に関する議論など、実習・議論を通じて新しい分野を学ぶことができ、大変勉強的になった。 事・技	8月25日(月)～9月5日(金)	12日間